

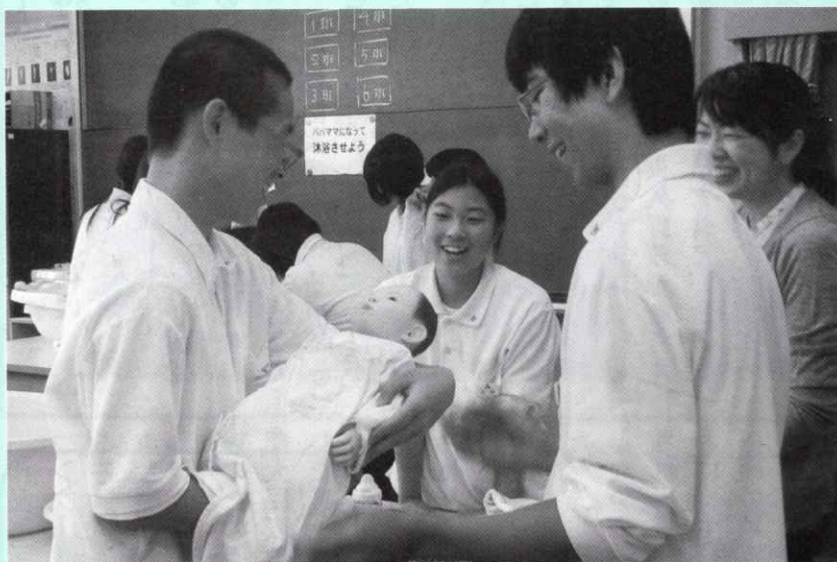
私たちを はぐくみ 育ててくれる 母なる大地 夜久野町

夜久野自治会だより

第17号

平成23年
新春号

「学・心・体・食」励んでいます 夜久野中学校



沐浴体験



給食風景



新人陸上大会



全校床ふき大会



授業風景



職場体験

おもな内容

新年のあいさつ……………	2
明日の夜久野教育を考える……………	3
〈特集〉ごみ収集アンケート結果…	4・5
輝く夜久野の子どもたち……………	6・7
まちかどフォト……………	8・9
まごころ銀行(ふるさと基金)……………	10

トピックス

夜久野地域公民館
文部科学省 優良公民館表彰
受賞

新年のごあいさつ

夜久野町連合自治会 会長 井上 貞昭

新年を迎えて
大きく伸びる子ども達に
夢を託す

新年明けましておめでとうございます。内外とも諸般厳しい状況の中にありますが、皆様方には希望を胸に新たな年をお迎えのことと存じます。

新年を迎えた今、連合自治会の歩みを省みるとき、各自治会長様をはじめ町民の皆様を支えながら皆様にお約束した課題の解決に取り組んで参りました。

最重要課題は「学校問題」です。

今、夜久野の子どもを取り巻く諸課題、「少子過疎化」「小学校校舎の老朽化」「夜久野ならではの教育実践」等を考えるとき、連合自治会や保護者団体等がすすめる「明日の夜久野教育を考える会」の理念の確かさを確信すると共に、会の立ち上げから今日まで懸命の取組みをすすめてこられた自治会の諸先輩や保護者団体等の関係者の皆様に、感謝と敬意の念を表したいと思えます。

昨年十一月に夜久野中学校生徒会が「虹」ひとつのキャンパスに九十八人の個性で描こうをテーマとした学習発表会を見せていただきました。

そこでは、「夜久野の自然のすばらしさと、それを守る決意」「職場体験で学んだ働くことの意義家庭を支えている親たちの職業人としての苦労」「修学旅行の沖繩の地で心に深く刻まれた戦争と平和の現実」などのテーマを構成・演出・演技等さまざまな工夫をこらして、新しい世界への挑戦を仲間と力を合わせて自らの力で成功させました。

作品展示も力作揃いでした。圧巻はNHK合唱コンクールで京都府代表となった合唱に代表される各学年、全校生と、そしてPTAそれぞれの混声合唱でした。

十八年前、夜久野の町民は未来を背負う子ども達のため、英知を結集して中学校統合と当時の文部大臣表彰を受けるすばらしい校舎を完成させました。

夜久野の子ども達は十二分にその期待に応えています。

昨夏、「考える会」は村上美智子先生（京都市教育委員会小中一貫教育室指導課参与）を講師に迎え、小中一貫教育について勉強会を開催しました。先生は其中で、『学校・家庭・地域が一体となった地域ぐるみの初等教育』の重要性を強調されましたが、夜久野中学校の学習発表会ではまさに、生徒学校・保護者・地域住民の揺るぎない信頼の輝く、ゴールデントライアングルを見る思いで、大きな感動と共に未来への大きな希望と夢を見ることができました。

「考える会」がすすめている小学校が統合した小中一貫校はこの中学校を基盤に素晴らしい学習環境として誕生することを確信し、実現への決意を新たにしました。

小学校の統廃合については、それぞれの想い、多様なご意見があるうと思えますが、子ども達の、そして私たちの未来のために町民の皆様が一致結束していただくことを念願する次第です。

どうぞ皆様方の更なるご支援ご協力を重ねてお願い致します。

表紙のこたば

今年度は表紙に、年間を通して夜久野中学生の生徒さんにお世話になり、夜久野の民話をイラストに描いていただいています。

新春号は、イラストをお休みし、生徒さんたちのさまざまな活躍の姿で表紙を飾っていただきました。

生徒さんたちのさわやかな笑顔は、私たちに元気をくれる“町の宝”です。

〈シリーズ・夜久野の教育を考える〉

「明日の夜久野教育を考える会」活動報告

①私たちの願いを直接、福知山市長へ

平成22年10月7日、午後1時から約1時間、福知山市役所で連合自治会・各PTA会長・保護者会代表・公民館代表・特別委員等12名が参加し、市側からは、松山市長・荒木教育長・古口教育部長・栗林教育総務課長・村上参事の出席を得て懇談会を開催し、私たちの要望等の四項目について早期に実現するよう、具体的な地域の課題を具体的に提起し強くお願いをしました。

②小中一貫校先進地視察

平成22年11月29日、連合自治会・各PTA会長・各保護者会長・民生児童委員・地域公民館長・各学校代表・保育園長・役員他26名が京都大原学院（京都市立大原小学校・中学校）の研修視察を行いました。京都大原学院は平成16年度自治会連合会総会において少子化問題対策委員会が設立され、地元の最大活喫緊の願いが大原地区に学校を残すこととされ、自治会・PTA等を中心に取り組みを進められ、その願いが京都市教育委員会を動かし、足掛け5年の歳月を経て小中一貫校大原学院の誕生を見ました。



地域・住民が一体となった活動と子どもたちへの地域の強い期待と支援に大きな感動を覚えると共に、私どもの活動に、大きな勇気を得て帰途につきました。

レポート

小中一貫校 鳥取市湖南学園を視察して

考える会学校部会

11月26日に湖南学園の研究発表会が開催されました。本校は平成20年度に県内初の小中一貫校として発足した学校です。今年度の児童生徒数は、147名（小学生94名、中学生53名）です。

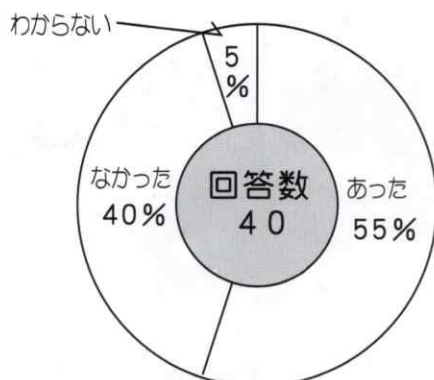
「子どもは地域の宝」「湖南で生まれた子は湖南で育てたい」等の願いのつよい地域にあって、急速な児童生徒数の減少は保護者のみならず、地域住民の大きな不安となっていたようです。2小学校2中学校を1小学校1中学校へ、そして平成20年「地域の活性化は学校づくりから」という保護者・地域住民一体となった願いが結実し、小中一貫校として湖南学園が設立されたようです。

研究発表では、小学校、中学校9年間の連続性の確保、児童期や思春期の発達段階に即した集団や学級編成と独自の学習や活動を学ぶことができました。

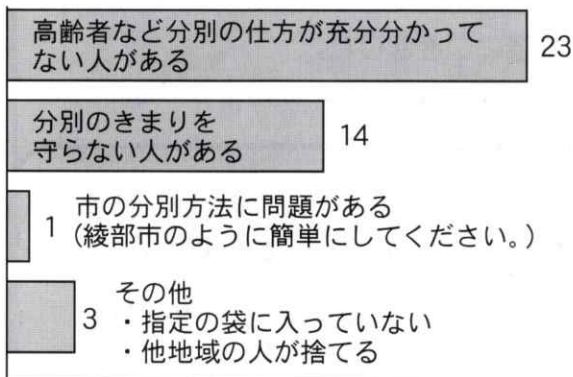
「一貫校で人づくり、地域づくり」をテーマとしたシンポジウムもあり、「学力向上なくして一貫校の成功はないが、地域住民の協力と理解なくして学力向上はない。」という言葉が強く心に残りました。

アンケート

【問1】あなたの自治会では、引き取ってもらえないゴミがありましたか。
(およそこの10ヶ月を振り返って、わかる範囲でお答えください。)



【問3】引き取ってもらえない原因は何だと思われますか？
(複数回答)



【問4】自治会でゴミの管理や取り残しのないように、工夫や取り決めをされていれば、教えてください。

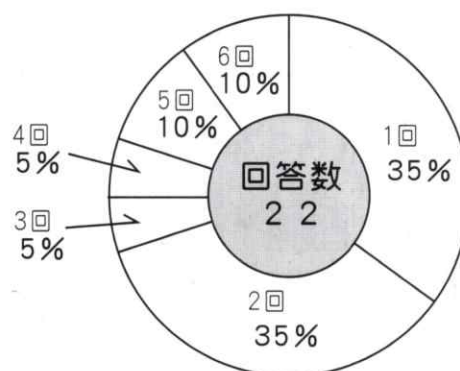
- 名前を書く。(21)
- 番号を書く。(2)
- 当番を決めて管理をする。(11)
(輪番制でみんなが経験することにより、分別への意識が高まる)
- 各家庭ごとで、取り残しがなければ見に行く。(3)
- 常会等で自治会長が啓発する。(2)
- 必ず当日に出すように申し合わせている。
- 理解されにくい高齢者に、時々説明している。
- 取り残しがした場合、みんなに集ってもらい、間違いを確認しながら整理する。
- どの家庭のゴミかわからない場合に、自治会長が放送で呼びかける。
- どの家庭のゴミかわからない場合に、回覧を作成し周知している。

健康環境委員さん 46人に聞きました！

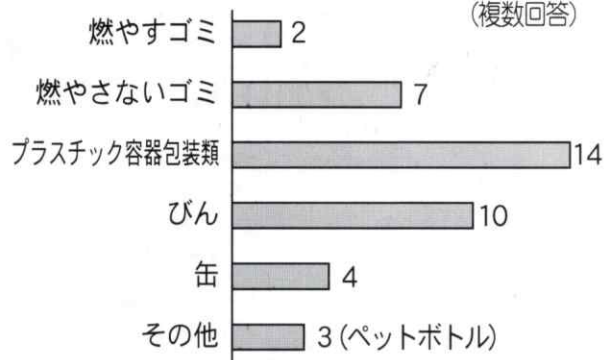
一昨年来プラスチック容器包装類の収集基準が厳しくなり、各自治会でもゴミステーションの管理等にご配慮をいただいていることと思います。福知山市の中でも夜久野地域はとりわけゴミの分別が優れているとの評価をいただいています。その自治会の知恵と工夫をみなさんと共有したりまた、課題を明らかにするために、アンケートを作成し、各自治会の健康環境委員さんに、ご回答いただきました。ご協力誠にありがとうございました。

【問2】問1で「あった」と答えられた方のみお答え下さい。

①引き取ってもらえないことが何回ほどありましたか？



②引き取ってもらえなかったゴミの種類は何でしたか？
(複数回答)



ごみ収集についての

【問5】健康環境委員さんとして、自治会のゴミ収集や環境衛生にかかわられる中で、困っておられることや問題点があれば、教えてください。

- 高齢者には、分別方法の理解が難しい。(3)
- 地域外からの持ち込みがあり、それが分別不良で残る。(3)
- 収集日が複雑なことにより、違う日に出してしまう。(2)
- ごみ収集場所に遠い高齢者は、重いゴミをもっていくことがつらいと思う。
- 分別方法を簡素化してほしい。
- 収集後に出すごみの解決策として、「本日収集済み」というカードを作り、効果を上げている。
- 業者による鶏糞の焼却の悪臭に困っている。

【問6】ゴミ収集に関して、疑問に思うこと等があれば、ご記入ください。

- 決められたことなのでしかたないが、ゴミが残されることが困る。
- 回収時刻が一定でない。
- 「プラ」の仕分けがわかりにくいため、燃やさないゴミがとて多くなっている。リサイクルとして活かされない。
- 分別したもの（ペットボトル・プラ）は、きちんと再生されているのですか。
- 以前、びん類で収集されなかったことがあるが、なぜ残されたかわからなかった。（きちんと分別できていると思う）次回そのまま再度出すと収集してもらえた。原因は不明でした。

【その他】

- 不燃ゴミが月2回になったことに対して、地域では「嬉しい」という声をよく聞く。

～混ぜればごみ、分ければ資源～

福知山市市民人権環境部 環境政策室

日頃よりごみの分別に関して、御理解・御協力をいただきありがとうございます。

本年9月より「燃やさないごみ」の収集を市民の皆様のご要望により、月2回にしました。当初は「燃やさないごみ」の急増や「容器包装プラスチック」の減少を心配しましたが、急激な変化も見られず、処分量はほぼ以前と同じ程度で推移しています。

本市では、「燃やさないごみ」を出来るだけ資源化するように努めています。

石油ストーブやガスレンジのように大半が金属のものは、そのまま金属くずとして再資源化していますし、様々な素材のものが組み合わさっているごみは、容積を小さくするために破碎して、その中に含まれている鉄製やアルミ製の金属片を選別して再資源化しています。選別後に残ったもので再資源化できないものは、埋立処分しています。

他にも、新聞・雑誌・ダンボール・紙パックはもちろん、空きビン・空き缶・ペットボトルや容器包装プラスチックなどは出来るだけ減容して、資源としての価値を高めています。

環境パークでは、施設見学やごみに関する説明会、手作り体験教室等を開催していますので、いつでもお気軽にお越しください。

資源を大切にしながら、皆様の生活環境が保たれるように努めてまいりますので、これからも御理解・御協力をよろしくお願いします。

輝く夜久野の子どもたち

下夜久野保育園

保育目標

みんな仲良し太陽の子

「話をよく聞き 自分で考えて 行動出来る子に」

元気な笑い声や、歌声が毎日響きわたる下夜久野保育園児二十九名の子どもの姿を紹介します。

秋になり、祭りの練習に参加する子ども達から、楽しそうな話を聞き、前日に全部のダシを皆で見に行きました。地域の方から「まだ途中なんや」とか「今日の夜に出来あがるで」と声をかけていただき地域の皆様の温かさを感じました。興奮気味で帰ってきた子ども達は「ゲゲゲのきたろうがあつたで」「トトロの猫バスがあつたな」と話していました。

奥公民館近くに全園児の作品を展示させてもらい、下夜久野保育園児が伝統的な祭りに皆で参加した記念すべき年になりました。又、グリーンピラ夜久野への訪問では、デイサービスに來られた方達と塗り絵やビー玉並べをして交流を持ち、ホールで元気に踊り、大きな声で歌い、手造りのプレゼントを渡しながら、歌に合わせて肩たたきをして喜んでいただきました。このように子ども達は、色々な経験をしながら、沢山の人の温かさに触れることで、やさしくされる喜びを感じ、周りの人達へ優しくする事の大切さを知り成長しています。これからも、嬉しい事や、楽しい事を沢山経験し、笑顔一杯の園生活を過ごしてほしいと思っています。



夜久野中学校

〈生命について考える〉

今、三年生は様々な体験を通して命について深く考え合っています。妊婦体験、沐浴体験、乳幼児とのふれあいミニ運動会などを行い、小さな体に息づく大きな生命の大切さを十五才のやわらかい心で感じ取りました。赤ちゃんの温もりと屈託のない笑顔は、思春期真っ只中の中学生の心をポカポカと温かく満たすと共に、親になることの責任の重さもずっしりと伝えてくれました。さらに道德の時間に「赤ちゃんポスト」の設置の是非について考え合いました。賛否両論が真っ二つに分かれる中、

多くの意見が飛び交いました。いずれの意見も赤ちゃんの生命や将来のことを考えてのものでした。「一つしかない大切な生命、だからこそ今を輝



明正小学校

「子どもの心を育てる読書！」

「家に帰って『子どもの物語』には、必ず幸せが描かれている。』という言葉思い出して、『なるほどなあ。』と思いながら、家にある絵本を読み返しました。大人からたくさん愛情をもらい、あったかい絵本をいっぱい読んで育った子どもは、きっと安心して大きくなっていくんだろうなあと思いました。大切なことを考えるきっかけを与えていただき、ありがとうございます。また、『じぶんのそうべい』の人形劇は、一緒に笑ったり、ドキドキしたりしているうちに、日常のいやなことも忘れ、見終わった頃には、とても清々しい気分になっていました。子ども達だけでなく、大人が見ても、こんなに人形劇の世界に引き込まれるなんてすごいです。とても楽しい時間を過ごすことができました。」

これは、十月二十六日の「子育て講演会」に参加された保護者の感想です。

今年は、「国民読書年」ですが、本校では、読書活動に力を入れています。毎日の読書タイム、読書ボランティア「れんげ畑」の皆さんによる読み聞かせ、市立図書館夜久野分館や移動図書館車の利用などを通して、子ども達が読書に親しむ習慣づくりを目指しています。また、家庭の協力を得て、「親子で読書」に取り組んでいます。



明正小
福知山造型フェスタ
市長賞受賞



かせて生きる」三年生はそのことを深く胸に刻んで、学校生活を充実させています。

〈資源回収、地域の皆様ありがとうございました〉

夜久野中学校PTA会長

西田 和彦

十月末、地域・保護者の皆様の全面的なご協力をいただいて資源回収を実施させていただきました。自治会長様をはじめ役員の皆様には、事前の準備や手配等も周到に行っていただきありがとうございました。お陰様で五十八トンという非常に多くの資源を提供していただき、市よりの補助金と合わせて約八十万円という多額の収益を得ることができました。この貴重な財は生徒の活動に大切に使用させていただきます。紙面をお借りしてご報告申し上げます。お礼とさせていただきます。





秋空の下で心かよう 畑地区祭



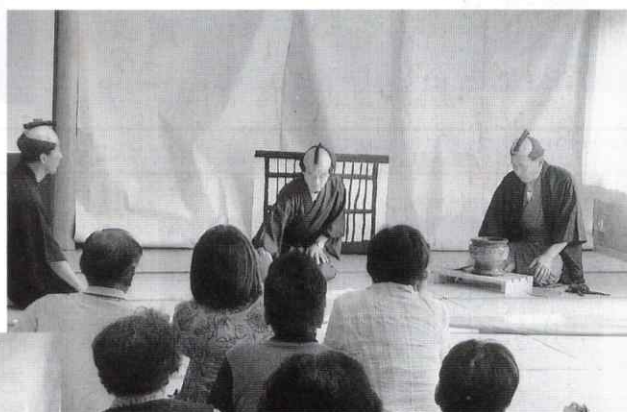
10月10日、畑グラウンドを会場に運動会を行いました。八幡神社太鼓も披露され、楽しい一日となりました。

笑って笑ってまちおこし 秋まつりで手作り芝居

山中自治会の有志で組織される楽友会（岡本信男会長）では、常々秋祭りのイベントに芝居をやって祭を盛り上げようとの声があり、今年は何とか成功させようと、6月から取り組みを始めました。

最初は不安や負担に感じたりもしましたが、少しずつセリフを覚え、衣装や道具類が揃ってゆくと、徐々に芝居の面白味がわかってきました。流れが完全に頭に入ると余裕が生まれ、本番ではアドリブを入れるなど最高の演技が出来ました。他地域からのお客さんも見に来ていただき、自治会の皆さんにも喜んでいただくことが出来、同時に達成感を味わうことも出来ました。

来年も新たな題材に挑戦し、地域を盛り上げ、自分たちも楽しみたいと思います。



心合わせて楽しく元気な

地域の絆
深めて...

中夜久野地区敬老会 (於：農業者トレーニングセンター)

全員の「延寿万歳」の大合唱で始まった敬老会。お互いの元気度を確認するかのよう、「歌う、歌う、歌う」招待者が、実行委員の自治会長が、民生・児童委員さんが、女性の会からも、公民館長が、司会は流暢な口調で招待者が盛り上げる。「体育館一杯に響き渡る大きな声、声、声」喜色満面で家路についた。



アイデア寄せ合いますます楽しい催しに！

ふれあいいきいきフェスタ (第5回公民館まつり)

10月24日(日)

(於：夜久野町ふれあいプラザ)



感動的な「ンコシアフリカ」コンサート

新しい取り組みも加わり、ますます充実した催しになりました。

当日参加していただいた皆様も、ご支援ご協力いただいた皆様も、本当にありがとうございました。

国民文化祭PR隊長
まゆまる来館



立ち見も出た満員のホール



すばらしい作品の数々

トピックス

夜久野地域公民館に 文部科学大臣賞



夜久野の諸団体と密接な連携をすすめており、町づくり人づくりに大きく寄与されており、今般の受賞は誠に喜ばしく心からお祝いを申し上げます。ともに、今後とも、私どもとの連携をますます強めていきたいと思

吉井昌平さん（日置）に 市教育委員会表彰

永年にわたり化石の収集と調査を夜久野を中心に近隣府県を含め取り組まれ、化石・郷土資料館に寄贈展示すると共に、市内外の学校等で講話をするなど、理科教育に大きく寄与された功績が賞されました。

お知らせ

2年がかりで制作の 演劇

夜久野ふれあいプラザで上演！！

（市民参加型演劇）

『鳥たちの舞うとき』

入場無料

平成23年

2月5日（土） 午後6:30開演

2月6日（日） 午後2:00開演

会場 夜久野ふれあいプラザ ホール

夜久野町の人口は 平成22年11月末日現在

☆人口 4,257人（-100人）

（男）1,993人（-38人）

（女）2,264人（-62人）

☆世帯数 1,659戸（-21）

（ ）内は去年同期

（市人口統計表による）



ふるさと基金

まごころ銀行

まごころ銀行

篤志ありがとうございます。

☆平成二十二年十月

亡夫供養 山下 榮美子様 野

亡父供養 衣川 靖雄様 山 中

☆平成二十二年十一月

亡夫供養 芦田 さつき様（向）

☆平成二十二年十二月

亡祖母供養 清水 清己様 中 田

編集後記

暑い暑いと言っていた夏も過ぎ、早初雪の季節を迎えた。この他夏が暑かったせいか冬の訪れが早い気がする。今年度の自治会便りも三号目の発行を迎えた。「何とか読み易い誌面に」「夜久野地域の抱えている問題をどうしたら判りやすく皆さんに説明できるか」「夜久野地域の子ども達や全ての人々の生き生きとした姿が届けられるか」編集委員会で熱い論議を時には編集から逸脱しながら交わしてきた。

一人一人の思いは同じでもなかなか一つの意見にまとまらないのが世の常。それでも夜久野地域が住みやすく、めくもり溢れる里とする気持ちには変わらな。その思いのこもった自治会便りになるように頭を寄せ合っている。どうかご熟読ください。